

令和3年度における  
福岡県の観光振興の取り組み



福岡県

令和3年3月

# (1) ①\_ 第二次福岡県観光振興指針（2020年度～2023年度）の目標と現状

## ● 目指す将来像 ⇒ 「持続可能な観光先進県 福岡」

### 基本方針

- |                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| 1 戦略的なインバウンド誘客による旅行消費額の拡大 | 3 デジタルマーケティングの推進 |
| 2 旅行者の県内各地への来訪促進          | 4 持続可能な観光の推進     |

## ● 目標値（KPI）

数値目標	2018年(H30)	2019年(R1)	現状 2020年(R2)	目標値 2023年(R5)
外国人入国者数	328万人	285万人	33万人	360万人
延べ宿泊者数	1,673万人	2,042万人	(※1) 981万人	2,000万人
延べ宿泊者数（外国人）	337万人	426万人	(※1) 61万人	500万人
旅行消費単価（通常入国外国人）	57,600円	65,700円	(※2) —	61,500円
旅行消費額 （日本人） （外国人）	9,253億円 (7,231億円) (2,022億円)	9,934億円 (7,996億円) (1,938億円)	(※2) — (2,935億円) ( — )	9,700億円
観光関連産業の売上金額	7,862億円	(※3) —	(※3) —	8,200億円

【出典】・外国人入国者数：法務省「出入国管理統計」

・延べ宿泊者数：観光庁「宿泊旅行統計」

・旅行消費単価：訪日外国人消費動向調査

・旅行消費額：観光庁「訪日外国人消費動向調査」及び法務省「出入国管理統計」を基に福岡県算出

・観光関連産業の売上金額：総務省・経済産業省「経済センサス」、観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」に基づき、宿泊業、飲食業における観光による売上金額を推計

(※1) 2020年(R2)の延べ宿泊者数は、2020年速報値

(※2) 2020年(R2)の旅行消費額(単価)は日本人のみ(外国人は調査を中止しているため不明)

(※3) 令和3年経済センサス-活動調査の調査結果の公表まで不明

# (1) ①\_ 第二次福岡県観光振興指針（2020年度～2023年度）の目標と現状

## ● 4つの施策の柱に係る目標

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 受入環境の充実   | 3 効果的な情報発信  |
| 2 観光資源の魅力向上 | 4 観光振興の体制強化 |

### 1 受入環境の充実

成果指標	2018年(H30)	2019年(R1)	現状 2020年(R2)	目標値 2023年(R5)
全国の延べ宿泊者数に占める福岡県の延べ宿泊者数の割合(外国人)	3.6%	3.7%	3.2%	4.0%
インバウンド協力店登録数(※)	1,004店舗	1,049店舗	1,071店舗	2,000店
ふくおかバリアフリーマップ掲載施設数(※)	4,619箇所	—	5,026箇所	9,000箇所

### 3 効果的な情報発信

成果指標	2018年(H30)	2019年(R1)	現状 2020年(R2)	目標値 2023年(R5)
SNSフォロワー数(※)	129,579人	212,259人	264,326人	260,000人
県ホームページセッション数(※)	208万セッション	191万セッション	132万セッション	520万セッション
県ホームページ平均セッション時間(※)	1分08秒	1分05秒	1分14秒	2分40秒

### 2 観光資源の魅力向上

成果指標	2018年(H30)	2019年(R1)	現状 2020年(R2)	目標値 2023年(R5)
日本人旅行消費単価(宿泊客)	61,000円	61,500円	49,200円	62,000円
旅行商品として販売したインバウンド向け体験プログラムの数(※)	15商品	23商品	31商品	30商品
サイクルツーリズムモデルルート数(※)	5箇所	10箇所	10箇所	10箇所

### 4 観光振興の体制強化

成果指標	2018年(H30)	2019年(R1)	現状 2020年(R2)	目標値 2023年(R5)
日本版DMO及びDMO候補法人の数(※)	6団体	8団体	8団体	9団体
観光人材育成研修受講者数(※)	—	244人	605人	累計3,800人

※年度で集計している項目の現状値(2020年)は、11か月分(2020年4月～2021年2月)の数値であるため、単純比較できない。

## ● 前回の福岡県観光審議会（令和2年10月21日開催）

### （議題）新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた令和3年度観光振興施策の方向性について ＜委員からのご意見＞

#### ① 感染防止対策

- ・ 地方部で事業者感染者が出ると、地域の風評被害につながるため、受入側の感染防止対策を考える必要がある。
- ・ ネット上で安心・安全をPRするキャンペーンを実施し、福岡県が安全な場所であるというイメージをつくっていくことが重要。

#### ② デジタルプロモーションの加速化

- ・ 衛生情報の発信、受け入れ環境整備、デジタル技術人材の育成など、全方位でデジタル強化が必要。
- ・ 精緻なマーケティングをし、ターゲットに合うプロモーション施策を行う必要がある。

#### ③ マイクロツーリズムなど新たな観光資源を活用した観光振興施策

- ・ コロナの影響で旅行人数が減少している今、産業全体の中でより一層高付加価値な旅行商品を造成し、消費単価を上げていくことが求められている。
- ・ 観光資源の掘り起こしを行い、体験型プログラムなど造成していくことが必要。

#### ④ ウィズコロナ、ポストコロナを見据えたインバウンド対策

- ・ アフターコロナの際には、新規外国人入国者よりも、リピーターが最初に戻ってくると考えている。特に東アジア圏内のリピーターが増える可能性が高く、彼らは、福岡市以外の自然豊かな地域の訪問ニーズや、日本文化を知りたい、体験したいといったニーズがある。
- ・ 地方において、非対面・非接触が可能な受け入れ体制の整備や、多言語化、デジタル化を進めていく必要がある。

# (1) ②\_ 令和3年度における観光局関連事業

## 1 受入環境の充実

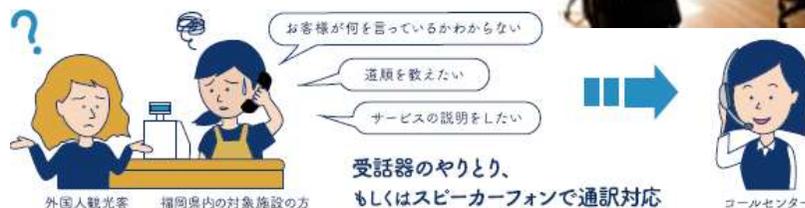
### ■ 観光客の受入環境を整備

- ・ 旅館・ホテル等が実施する魅力向上のための施設整備や感染症対策を支援

- 新** ・ 宿泊施設でのワーケーションスペースの整備を支援

### ■ 外国人観光客受入環境を整備

- ・ 多言語対応コールセンターを運営



## 2 観光資源の魅力向上

### ■ インバウンド向け体験プログラムを組み込んだ旅行商品造成を支援

- ・ インバウンド向け体験プログラムを検討・開発

### ■ 県内統一的なテーマ設定による資源開発と商品造成を支援

- ・ ヘルス&ビューティーツーリズム（資生堂久留米工場を核とした新たな観光エリアを創出）
- ・ グリーンツーリズム（魅力あふれる農泊推進事業）
- ・ サイクルツーリズム（サイクリストの受入に係る環境整備に対する助成、SNSを活用したデジタルプロモーション等を実施）

### ■ 広域サイクリングルートを整備

- ・ 案内板整備、安全対策に係る市町村への支援



# (1) ②\_ 令和3年度における観光局関連事業

## 3 効果的な情報発信

### ■「福岡の避密の旅」観光キャンペーン第2弾を実施

- ・ 県内の宿泊施設を利用する際の宿泊代を割引〔1人1泊あたり1/2以内、最大5,000円割引〕
- ・ 県内の観光地等を訪問する際に利用するレンタカー代、タクシー代を割引〔レンタカー代:1日1台あたり最大3,000円割引、タクシー代:1回あたり1/2以内、最大3,000円割引〕



### 新 ■ マイクロツーリズムを推進

- ・ 県内中小旅行会社が企画する県内旅行商品に対し、旅行代金の一部を助成

### ■ 国内からの誘客プロモーションを推進

- ・ 国内の観光客向け観光動画によるプロモーションを実施

### ■ インバウンド需要の回復に向けたプロモーションを推進

- ・ 誘客先にあわせたデジタルプロモーションを実施

### 新 ■ 県内に就航している航空会社との東アジア向け共同誘客プロモーションを実施

### 新 ■ 富裕層向けオンラインツアーを造成



## 4 観光振興の体制強化

### 新 ■ 観光団体のDMO化を加速

- ・ DMO本登録に必要な専門人材の育成講座を実施
- ・ DMO登録要件等に関する相談・指導を行うワンストップ支援窓口を開設し、課題内容に応じて専門家を派遣

### 新 ■ 日田彦山線沿線の地域振興を支援

- ・ 東峰村、添田町が地域の実情に合わせて実施する地域振興の取組みを支援
- ・ 東峰村、添田町における観光地域づくりを担う人材、団体の育成を支援
- ・ 小石原焼等の窯元における後継者発掘のための就業体験ツアー実施を支援

### ■ 宿泊、飲食事業の人材育成を支援

### ■ 観光ボランティアガイド等の育成を支援

